

学校教育目標

心身共に健康で知・徳・体の
調和が取れ、自主的で実行力の
ある子どもの育成

萩原小学校だより 平成29年12月13日
全国学力・学習状況調査特集号

めざす子ども像

- かしこく、たくましく、思いやりのある子ども
- 進んで学び、よく考え、正しく判断する子ども
- 礼儀正しく、なかよく協力し、思いやりのある子ども
- 元気でたくましく、ねばり強い子ども

校長 村尾 隆

習慣づけよう！「あいさつ・返事・お片付け」

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

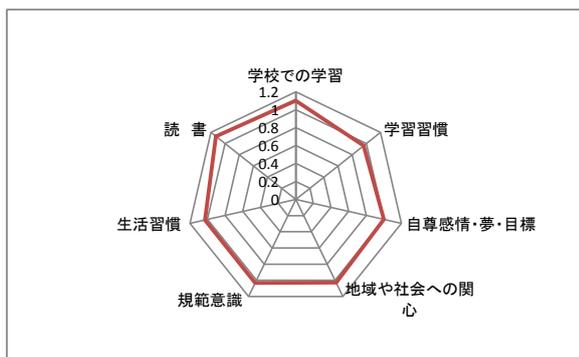
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	本校における学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	・全国平均を上回っており、文章の中から必要な情報を見つけて読む能力や、言語についての知識・理解を問う問題の正答率が高かった。 ・手紙の構成を理解し、後付けを書く問題に課題が見られた。手紙を書く活動を行い、定着を図る必要がある。	上回っている
国語B	・全国平均を上回っており、無解答率も低かった。 ・特に、書くことに関する問題については、全国に比べ正答率が高くなっており、自分の考えを文章に表す力が付いてきている。	上回っている
算数A	・全国平均を上回っており、どの領域においても正答率が高く、学習したことがしっかりと身に付いている。 ・無解答率は0%であった。児童全員に最後まで粘り強く問題に取り組もうとする意欲が見られた。	上回っている
算数B	・全国平均を上回っている。特に、自分の考えを記述する問題については、全国と比べて、無解答の児童が少なく、正答率が高かった。 ・表やグラフの特徴を基に考察することや、目的に応じて適切なグラフを選択し、表現するところに課題が見られた。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- ・学習に対する意識に高まりが見られた。また、「読書が好き」と回答した児童が多かった。
- ・自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることが難しいと感じている児童が多かった。
- ・全国と比べ、1日に1時間以上ゲームをしている児童の割合が高く、家庭学習を1日に1時間以上行っている児童の割合は低かった。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・児童が主体的・対話的に学習に取り組めるように、生活場面や活用場面からの課題設定や、話し合い活動の充実等、算数科を中心に授業研究を進めていく。
- ・「朝自習」や「萩原タイム」の中で、習熟プリント、読書、新聞記事の読み取り等の取組を継続し、学力の定着と活用力の向上を図る。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・児童の自主学習ノートの掲示や、よい取組をしている児童を表彰するなど、家庭学習に主体的に取り組めるようにしていく。
- ・学習習慣の定着を図るために、家庭学習チャレンジハンドブックの活用を促す。取組の進捗を定期的に点検するとともに、家庭へのお知らせや協力を呼びかけるなど、啓発を行っていく。